



平成28年 3月31日

薩摩川内市議会

議長 上野 一誠 様

（会派代表者経由）

会派の名称 会派に属さない議員

経理責任者氏名 井上 勝博



政務活動費に係る収支報告書

薩摩川内市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、次のとおり、平成27年度政務活動費に係る収支報告書を提出します。

1 収入

政務活動費 180,000 . 円

2 支出

（単位：円）

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	168,001円	4/14～17福島県、5/19～21福島県、 12/12～14東京都
研 修 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費	22,460円	社会新報、農民、書籍等
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
人 件 費		
事 務 費	4,553円	プリンターインク代
合 計	195,014円	

3 残余の額

0 . 円

- 注1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。
 2 領収書、活動報告書その他必要な書類を添付すること。
 3 会派に属さない議員の場合は、「会派代表者経由」の必要はないこと。
 4 会派に属さない議員の場合は、「会派の名称」は記入しないこと。
 5 会派に属さない議員の場合は、「経理責任者氏名」とあるのは「議員の氏名」と読み替えること。

平成28年3月31日

薩摩川内市議会

議長 上野 一誠 様

会派の名称 会派に所属しない

代表者名 井上 勝博



活動報告書

1 調査研究事項

【一回目】

(1) 視察年月日

平成27年4月14日（火）～平成27年4月17日（金） 4日間

(2) 視察地及び視察項目

福島県いわき市、浪江町、南相馬市

福島第一原発事故の実態と障がい者避難（市議会議員12人に同行）

(3) 視察参加者

井上勝博

【二回目】

(1) 視察年月日

平成27年5月19日（火）～平成27年5月21日（木） 3日間

(2) 視察地及び視察項目

福島県いわき市、楢葉町、

福島第一原発事故の実態調査（原発ゼロをめざす鹿児島県民の会の視察）

(3) 視察参加者

井上勝博

【三回目】

(1) 視察年月日

平成27年12月12日（土）～平成27年12月14日（月） 3日間

(2) 視察地及び視察項目

東京都内 原発問題住民運動全国連絡センター総会参加

および電事連、原子力規制庁、東電への聞き取り

(3) 視察参加者

井上勝博

2 研修事業

3 広報事業

4 公聴事業

5 要請・陳情活動事業

6 その他活動

政務調査視察報告書

平成 28 年 3 月 3 / 日

歴経川内市議会

議長 上野一誠 離

会派名 会派に所属しない議員

代表者名 井上 勝博



政務調査費による視察を実施したので、次のとおり報告します。

1 視察年月日

平成 27 年 4 月 14 日 (火) ~ 平成 27 年 4 月 17 日 (金) 4 日間

2 視察参加者

井上勝博

3 視 察 先

福島県いわき市、楢葉町、南相馬市

4 視 察 目 的

福島第一原発事故の実態と障がい者等の避難 (市議会議員 1 2 人に同行)

5 視 察 の 概 要

新創会 (9 人)、公明党 (2 人)、市民連合 (1 人)、会派に所属しない (1 人) 計 13 人で福島県を合同視察。楢葉町職員から原発事故避難について聞き取り、浪江町、南相馬市で障がい者避難支援について聞き取り。

6 所 感

視察では①楢葉町の避難の実態では議会議長、町職員の体験談を聞く。楢葉町では東電社員からの情報が早かったために他の自治体に比べスムーズに避難ができた。しかし、青木議長は「原発が誘致されたときは雇用が増え良かったが、事故が起こるとすべてを失った。原発事故が起こったときの現状をつぶさに見てほしい」と訴えられた。また職員の半谷さんは、「お年寄りや故郷のことを話す時がもっとも明るい。故郷に帰れないことの精神的負担は重い」と話されていたことが印象的②浪江町の現状と障がい者の避難支援について障がい者施設の方から話を聞いた。屋内退避の大変さ、障がい者がどこにいるのかわからなくなることが最大の問題、日常から障がい者支援について準備しておくことの大切さを学ぶ。

政務調査視察報告書

平成 28 年 3 月 3 / 日

鹿野川内市議会

議長 上野一誠 殿

会派名 会派に所属しない議員

代表者名 井上 勝博



政務調査費による視察を実施したので、次のとおり報告します。

1 視察年月日

平成 27 年 5 月 19 日（火）～平成 27 年 5 月 21 日（木） 3 日間

2 視察参加者

井上勝博

3 視 察 先

福島県いわき市、楢葉町、双葉町、大隈町

4 視 察 目 的

福島第一原発事故の実態調査

5 視 察 の 概 要

原発ゼロをめざす鹿児島県民の会は、福島県いわき市在住の伊東達也さんや楢葉町宝鏡寺住職の早川篤雄さんの案内で現地の実態と事故時の体験談などの聞き取りを行い、井上も同行した。

6 所 感

伊東達也氏は、原発事故以前から原発問題住民運動全国連絡センターの筆頭代表委員であり、原発事故の危険性を訴えていた。しかし、実際に福島で事故がおこるとは想像だにしていなかった。放射能の人体への影響について各方面から問い合わせがあったが、どんなときに避難すればいいのかという判断には悩んだ、わかっていたつもりでも実際に事故がおこると冷静になれないという。早川住職の話は楢葉町宝鏡寺で聞いた。楢葉町は一時帰宅が許されていた。それでも若い人は帰らず町は高齢者ばかり。原発事故からは「避難」だけでなく「移住」も考えなければならないと話された。二人の話から原発事故は、他の産業事故とはけた違いに難題、課題を抱えていると感じた。

政務調査視察報告書

平成 28 年 3 月 8 / 日

慶應川内市議会

議長 上野一誠 様

会派名 会派に所属しない議員

代表者名 井上 勝博



政務調査費による視察を実施したので、次のとおり報告します。

1 視察年月日

平成 27 年 12 月 12 日 (土) ~ 平成 27 年 12 月 14 日 (月) 3 日間

2 視察参加者

井上 勝博

3 視 察 先

東京都文京区、東京電力本社、電気事業連合会、原子力規制庁

4 視 察 目 的

川内原発再稼働問題に係わる調査、電事連、原子力規制庁、東電から聞き取り

5 視 察 の 概 要

原発問題住民運動全国連絡センターの総会では、伊東達也筆頭代表委員の報告、全国の原発運動の経験などを交流する。東電、電事連には福島第一原発事故の実態と原発事故の責任について聞き取る。原子力規制庁には新規制基準と川内原発について聞き取りをおこなった。

6 所 感

総会の報告では、原発再稼働へ暴走する安倍政権の下で、国民の生命と財産の安全が、事故以前以上の脅威・危険に曝されていると指摘。地震列島、火山列島での原発立地が原発立地を世界一危険なものになっているなど川内原発再稼働の危険性がいっそう浮き彫りになったと思う。また電事連では、原発事故問題での責任について認識の薄さを感じた。原子力規制庁では、新規制基準に適合しても「絶対事故を起こさないに行くわけではない」としながら、再稼働を進めていることの矛盾を感じた。東電では対応は丁寧だが、オール福島の人が望んでいる「福島第二原発の廃炉」についてあいまいな態度をとりつづけていると感じた。